

## 平成21年度自治体国際協力促進事業(モデル事業)一覧

	自治体名	事業名	相手国・地域	事業内容
1	札幌市(北海道)	日ロオオワシ野生復帰プロジェクト	ロシア	オオワシの飼育下での繁殖個体を野生復帰させる技術の確立を通じて、日本とロシアの国際協力に基づく希少猛禽類の野生復に貢献する。
2	(財)岩手県国際交流協会	「フェアトレード・コミュニティ in いわて」プロジェクト	ネパール	① フェアトレードを通じて地域の課題解決や活性化を図る。 ② フェアトレードの認知度を高め、国際協力の裾野を拡大する。 ③ 多様な分野、地域でフェアトレード・コミュニティを創出する。 ④ フェアトレードを通じてネパールとの新しい交流を行う。
3	(財)山形県国際交流協会	パプアの伝説・昔話を題材とする紙芝居の制作と研究支援事業	インドネシア パプア州	インドネシア共和国・パプア州で伝承されてきた伝説・昔話を、日本の伝統的な文化である「紙芝居」として表記し、パプア州の文化である伝説・昔話の掘り起こしを行うと共に、パプア州の人々が自らの文化に誇りが持てるよう支援する。
4	埼玉県	太湖を水源とする揚子江デルタの河川底泥中の有害化学物質調査支援事業	中国江蘇省	上海市内の代表的な河川である蘇州河を主な対象に、有害化学物質による底質の汚染レベル及び特徴を把握し、環境リスクの評価を行う。併せて、蘇州河の水源である太湖の底泥を用いて、処理・無害化技術の実証試験を実施し、適用性と実効性を評価する。
5	新潟県	モンゴルウランバートル市における道路改良協力事業(継続)	モンゴル国	本県の有する(雨水排水技術を含む)道路改良・維持管理技術をもって、都市整備の向上に寄与する。
6	富山県	黄砂を対象とした広域的モニタリング体制の構築事業(継続)	中国 遼寧省、韓国 江原道・忠清南道・慶尚南道、ロシア ハバロフスク地方・沿海地方、モンゴル ドルノゴビ県	国内外の経済界・学界・自治体が連携して、黄砂の実態や影響を把握するための簡易モニタリング(視程調査)を継続し、その結果を今後の効果的な対策の決定・実施に繋げていく。
7	石川県	中国江蘇省日本語・日本文化教育人材育成支援事業(継続)	中国 江蘇省	中国江蘇省の日本での留学経験のない若手日本語教師を招へいし、日本語指導方法のほか、日本の伝統文化体験やホームステイを組み合わせた研修を実施することで、日本語教師としての資質向上を図り、江蘇省の学生に正しい日本像を伝えることのできる人材の育成に協力する。
8	三重県	日本語教師受入事業	ブラジル	ブラジルにおいて日本語教育に携わっている日本語学校教員や日本語教師等を受け入れ、日本語教育技術のレベルアップを図るとともに、三重県に在住するブラジル人児童生徒を取り巻く課題を認識してもらう。もって、ブラジル国内での日本語教育の発展と日本から帰国する児童・生徒へのケアに貢献する人材の育成を図る。
9	滋賀県	中国湖南省に対する地域医療協力促進事業	中国 湖南省	先進的な地域医療の知識・技術の研修で、必要な知識や技術を習得した上で、帰国後、湖南省の地域医療改善に寄与する人材を育成することにより、中国の地域医療改善に貢献する。 ●研修員受入：中国湖南省で地域医療に携わる医療関係者
10	大阪府	アジア環境・防災ネットワーク事業(継続)	中国 上海市・江蘇省	「アジア主要都市サミット」(2007年10月開催)で構築された都市間ネットワークを活用して、アジアの調和ある発展と快適な都市環境の実現につなげるため、省エネ、環境や防災などの都市課題を解決してきた大阪の先進技術を各都市に紹介しながら、アジア各都市が連携・協力して、ともに発展するための取組みを構築する。
11	大阪府	大阪府・ジョグジャカルタ州橋梁技術者育成共同事業	インドネシア ジョグジャカルタ特別州	大阪府で撤去した歩道橋をインドネシア共和国ジョグジャカルタ州で再利用し、現地橋梁技術者の技術向上のために技術者を派遣し、橋梁再利用や維持管理に関する技術の習得を目指す。
12	豊岡市(兵庫県)	モンゴル国青少年協力促進事業	モンゴル国	モンゴルに在住の中学生を招聘し、豊岡市が推進している環境保全に対する取り組みを研修を行い、体験を通して自分たちの将来のために必要な方法論と実践例を学ばせるとともに、市が果たす国際協力をより定着的かつ日常できなものへ発展させ、あわせて国際化に対応できる人材育成を図る。
13	(財)神戸国際協力交流センター	マダガスカル共和国におけるコミュニティ・ライブラリー創設事業	マダガスカル	マダガスカル共和国において、地域の「コミュニティ・ライブラリー(ミニ図書館)」をつくり、子どもたちを中心に読書の楽しみを知ってもらうとともに、母子保健・環境衛生・生活改善・防災など様々な基礎知識の普及を図る。
14	榎原市(奈良県)	ベトナムベッチ市との医療体制支援交流	ベトナム フォーター省 ベッチ市	ベッチ市の医療体制の現状の問題点から、実情に即した器材の提供を行い、必要に応じて操作方法習得のための研修員受入、受入期間中の現地医療体制支援のための医療関連人材派遣、併せて地域計画と地域医療体制の整合性を図るための専門家による支援を行う ●予備調査、医療協力体制確立のための試験的な機材提供 ●技術員受入：機械操作指導

	自治体名	事業名	相手国・地域	事業内容
15	和歌山県	和歌山県・山東省環境技術協力事業 (継続)	中国 山東省	中国の良好な生活環境を守るための人材を育成するため、環境協力・環境技術指導を行うとともに、産官学共同セミナー・商談会を開催し、日本が持つ優秀な環境保全技術やノウハウの移転と環境関連産業の振興を目指す。
16	鳥取県	ブラジル短期留学生受入事業	ブラジル	ブラジル在住鳥取県出身子弟に専門分野における技術・技能等を習得または修学の機会を与え、ブラジルで社会的、文化的、経済的地位の向上と当該国の経済発展に寄与する ●研修員受入：以前研修員・留学生として受け入れた者のフォローアップ
17	松江市(鳥根県)	植林による寧夏回族自治区・銀川市砂漠化防止及び環境支援事業	中国 寧夏回族自治区 銀川市	銀川市において植林を実施することで、砂漠防止に寄与するもので、同時に植林がもたらす砂漠防止の有効性を、行政機関だけでなく、現地住民や学生が理解できるよう指導することで、現地住民による植林にかかる技術協力を支援すると共に、現地地域の教育環境の実現を目指す。
18	広島県	カンボジアにおける感染症、ガン等健診システムの整備モデルプロジェクト (継続)	カンボジア プノンペン・シムリアップ州・タケオ州	歯科をはじめとして、結核などの感染症、癌などの健診体制を整備することにより、現地住民の健康管理意識の向上を死亡率の抑制を図る。また、行政・NGO・大学医学部・附属病院による国際医療支援ネットワークを構築するとともに、現地と広島の保健医療関係者の連携による取組モデルを構築する。
19	(財)広島平和文化センター	青少年国際協力ボランティアリーダー養成事業(青少年国際交流・協カスターツアーの派遣等)(継続)	バングラデッシュ コックスバザール	青少年が開発途上国の現状について学び、現地の人々と交流し、また、日本の国際協力活動の実情について学ぶツアーを実施、帰国後の国際協力ボランティア活動への参加支援で、青少年の国際交流・協力に対する意識の醸成を図るとともに、次代の国際協力のリーダーとなる人材を育成する。さらに、バングラデッシュのNGOからメンバーを招へいし、バングラデッシュに対するより効果的な支援活動に寄与する。
20	宇部市(山口県)	フィリピン共和国サンタロサ市における「宇部方式」の精神を生かした環境改善システム研修事業(第2年次) (継続)	フィリピン サンタロサ市	「宇部方式」といわれる独自の公害対策に取り組み、公害問題を克服した経験を持つ本市において「産・官・学・民」のパートナーシップを基調とした環境保全対策を中心に、大学、企業、行政における環境保全への取組みについて、サンタロサ市の環境行政官、企業、学識者、住民代表に伝え、同市の環境問題の解決や環境システムの手法を伝える。
21	徳島市(徳島県)	日本庭園(サギノー徳島友好庭園)の維持管理向上のための造園技術協力事業(継続)	アメリカ ミシガン州 サギノー市	サギノー市の造園師および管理維持に携わる人々に対し、日本庭園が本来の美観を平素から保てるように、日本の造園技術、日本庭園の美的構築についての研修指導を行い、現地スタッフによる日本庭園の維持、管理が適切なものとなるようその技術の向上に努める。
22	松山市(愛媛県)	国際交流・国際協力に基づくESD教材・カリキュラム開発事業	モザンビーク	モザンビークとの国際協力活動を通じて「途上国の現状を理解し、持続可能な社会づくりに資する教材・カリキュラムの開発」の開発を行い、教育現場を中心とした実践により、国際理解を促進する。
23	(財)愛媛県国際交流協会	農家所得向上に向けた経営基盤整備事業(継続)	スリランカ	農産物栽培育成に関する技術支援に加え、経済開発の視点に立った生産性や収益率の高い農家経営に関する知識やノウハウを学ぶ必要があるため、農業経営基盤整備を支援する。 ●研修生の受入
24	北九州市(福岡県)	タイ地方自治体における環境人材育成事業(継続)	タイ シーラチャ市及び近隣5自治体	廃棄物管理及び市民啓発における能力開発を行う。また、北九州市の「アジアの環境人材育成拠点」としての基盤強化や、職員、専門家、市民、NGO等が一体となった環境国際協力体制の一層の充実を図ることに資する。
25	大牟田市(福岡県)	日本のエコロジー緑化技術導入による中国の森再生事業	中国 山西省 大同市	画期的な植栽手法である日本エコロジー緑化技術の導入によって、中国大同市の緑化の課題である森の再生を回り、持続的な自然林と本物の森づくりを支援する。
26	(財)福岡県国際交流センター	体験型イベント「教科書にのっていないアフリカ」	アフリカ	貧困の中に生きるアフリカの子どもの厳しい現実を、ヘッドフォンステレオから流れてくる子どものストーリーを聞きながら、疑似体験する「体験型」手法を用いたイベントを通して、1人でも多くの人に、より身近に、より深く、より印象的に伝える。
27	(財)福岡県国際交流センター	フィリピン・日本の舞台技術者の人材育成事業(継続)	フィリピン	日本とフィリピン間の相互協力により、双方の技術向上が図られ、舞台技術者等の人材育成をめざす。あわせて県内の舞台芸術の振興や伝統文化の発信・文化発展を図る。 ●専門家派遣 ・日本・フィリピン間の相互協力による研修、舞台公演
28	臼杵市(大分県)	施設野菜・果樹栽培技術指導者研修事業	中国 甘肅省 敦煌市	敦煌市の農業指導者等が、臼杵市及び大分県農業の先進的な取組みを学ぶ研修を実施し、今後の中国及び砂漠地域の敦煌市の農業生産技術の向上と新たな農業展開、色の安全意識高揚に寄与する。